

児童養護施設の労働問題

—子ども・職員双方の人権保障のために—

日時 2025年5月31日（土）午後3時～5時

場所 原則オンライン（Zoom）で開催
サテライト会場・・・松ヶ枝福祉館4階学習室
金沢市高岡町1-25

報告者 **堀場純矢さん**（日本福祉大学社会福祉学部教授）
※オンラインでご報告いただきます

ご案内

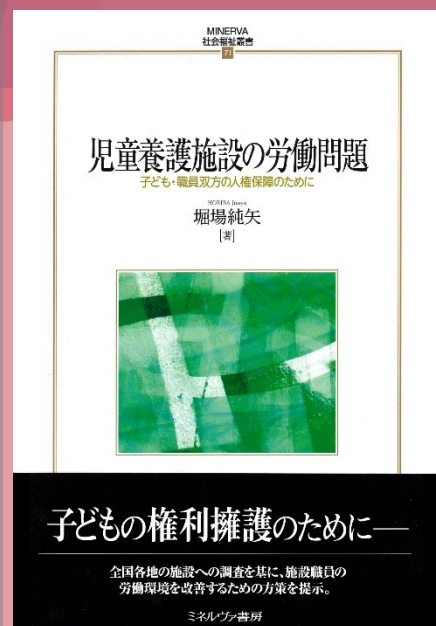
近年、ヤングケアラーや虐待の増加など子どもをめぐる様々な諸課題に対しては、こども家庭庁の創設、改正児童福祉法やこども基本法等の法整備も進められています。

一方で、小規模化・地域分散化が進む児童養護施設などの施設職員の労働環境の改善等に資する具体的方策は取られていない状況にあります。本来、子どもの人権を守るためには、それと同等に、ケアの「にない手」である職員の人権も十分に保障されなければなりません。これは、看護・介護・保育などの現場で働くケア労働者が共通して抱えている問題です。

第155回研究例会では、第149回（2023年）研究例会にて、児童養護施設からみた子どもの貧困・虐待の背景と支援についてご報告いただいた堀場純矢さん（日本福祉大学教授、当会会員）から、本年2月に発刊された単著『児童養護施設の労働問題：子ども・職員双方の人権保障のために』（ミネルヴァ書房）の内容をふまえて、児童養護施設職員へのアンケート・インタビュー調査等から明らかとなった現状や課題についてご報告いただき、報告後にはディスカッションも予定しています。なお、添付の「研究紹介」は本報告の概要で、「日本福祉大学同窓会報」134号（2025年3月15日発行）から転載の許可をいただいたものです。

参加費は無料で、どなたでもご参加いただけます。ぜひ、多くの方のご参加をお待ちしております。

本例会は、「Zoom」とサテライト会場を併用して開催します。ご参加希望の方は、下記のE-mailアドレスまで氏名、メールアドレス、参加方法（現地またはZoom）をお知らせいただくか、QRコードから専用フォームにてお申し込みください。



子どもの権利擁護のために—

全国各地の施設への調査を基に、施設職員の労働環境を改善するための方策を提示。

ミネルヴァ書房

主催：医療・福祉問題研究会

〒920-1192 金沢市角間町 金沢大学地域創造学類社会保障論研究室内

ホームページ <http://ihmk.sakura.ne.jp/>

お問い合わせ先（下記のE-mailアドレスもしくは右記のQRコードで）

ihmk1986★gmail.com（送信時は、★→@に変えてください）



申込フォーム